

東日本大震災被災地への体外診断薬の援助について（第二報）

日本臨床検査医学会
理事長 宮澤 幸久

この度の地震により亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますと共に、被害を受けられた皆さまとそのご家族の皆様にお見舞い申し上げます。

当会では一日も早い復旧と復興を心から願うと共に、臨床検査医学に関わる学術団体として可能な限りの支援をさせていただき所存です。

日本臨床検査医学会及び日本臨床検査自動化学 POC 推進委員が話し合い、社団法人日本臨床検査薬協会の協力を得て、体外診断に用いる POC 対応装置・試薬の緊急時の機器貸与（試薬の場合は無償提供）が可能な企業様の情報を収集しております。その結果、以下の検査機器及び項目については送付の準備が出来ました。

機器不要で免疫クロマト法等にて測定可能な検査

インフルエンザ, hCG, ロタウイルス, アデノウイルス, 尿中肺炎球菌, 尿中レジオネラ

全血にて測定可能で、電池もしくは本体に充電機能がある POCT 機器

機器名	測定項目	企業名
SMBG	血糖	多数
iStat	電解質, 血ガス, 腎機能	扶桑薬品
BBx	GOT, GPT, γ GT, 中性脂肪, 血糖, 総コレステロールが同時測定可能	シスメックス
Cobas h232	D-dimer, TnT	ロシュ
Coag Check XS	PT-INR	ロシュ
INRatio2 メーター	PT-INR	インバネス

POCT 機器は使用が簡便と言えども初めての使用者は戸惑われる点と、貸与可能機器数が限られていますので、送付前に送付者と受取り者間で事前確認をさせていただきます。

水や衣料品でさえも末端の施設まで配達されない場合もあると聞きますので、確実に届くよう施設名だけでなく部署名及び受け取り者名まで明確にする必要があります。

また、各企業様からは上記リスト以外にも援助申し出が多数届いておりますので、上記項目以外でも不足している体外診断薬や機器があれば、連絡をお願いします。対応可能か折り返し連絡致します。

なお、POCT 機器の使用方法等に関しては以下のリンクよりご参照下さい。

<http://www.jslm.org/about/jslm/uys.html>

援助を必要とされる方は、以下の項目を記載して頂き、神戸常盤大学の坂本秀生氏まで FAX もしくは電子メールで連絡をお取り下さい。

施設名
施設住所
担当者名
担当者 電話番号
担当者 電子メール
必要検査項目及び貸与希望 POCT 機器名
その他に必要な検査項目をできるだけ具体的に

〒653-0838 神戸市長田区大谷町 2-6-2
神戸常盤大学保健科学部 医療検査学科 坂本秀生
FAX: 078-643-4361, POCT 援助受付 E-mail: aid.by.poct@gmail.com